



小城のいろんな話題を
突撃レポートする おぎレポ

染物で四季を楽しむ

ばば さき すずむ (牛津町)
馬場崎進さん



染色家の馬場崎進さんは、定年退職後に染物に興味を持ち、独学で草木染を始めて18年になります。

草木染とは、葉、茎、根、木の実、皮などを煮出して染める昔ながらの染色法で、自然豊かな小城市内には染める素材が豊富にあるそうです。

「染める量、温度、採った季節によって色は微妙に変化します。同じ植物でも、全く同じ色に染まらないのが面白いところ。葉や茎が四季で変化するように、染物でも四季を楽しむことができます」と語ります。最初は色が染まらず苦労したそうですが、今では作品が評価され、県展などいろいろな作品展で受賞されています。

作業を始めると、休憩も忘れるほど熱心な馬場崎さん。「こちらから声をかけないと止めようとしません」と語るのには、跡を継ぐことを決めた息子の誠さんまこと。頼もしい後継者の存在に、制作にも一層力が入ります。

今後は「まだ染めたことのない材料がたくさんあるので、一つでも多く染めたいですし、同じ草木でも四季に応じて染めたいですね」と、目標ややりたいことがたくさん。自然と共存し、表現する馬場崎さんの探求心はまだまだ尽きません。



▲植物の持つ、自然の色のみで染色されています。



問 草木染工房 よもぎ
小城市牛津町牛津86-2
☎66・0677

番外編

旬の食材
de

お手軽
レシピ

今月の料理

「普茶料理・うなぎ」

材料 (5人分) 1人分→157kcal

- | | | |
|--------------------|---|---------------|
| ●豆腐 …… 1丁 | A | ＜タレの材料＞ |
| ●塩 …… 2g (小さじ 1/3) | | ●しょうゆ … 大さじ 2 |
| ●砂糖 …… 3g (小さじ 1) | | ●砂糖 …… 大さじ 3 |
| ●山芋 …… 大さじ 2 | | ●酒 …… 小さじ 2 |
| ●ごぼう …… 100g | | ●みりん … 大さじ 1 |
| ●しょうが … 30g | | ●しょうが汁 … 少々 |
| ●ノリ …… 1枚 (全型) | | ●片栗粉 …… 少々 |

作り方

- 豆腐は水気をよく切って固く搾り、すり鉢に入れすり混ぜる。塩、砂糖を加えた後、山芋をおろしたものを加えてすり混ぜる。
- ①の中にほぐしたごぼうとしょうがを加えすり混ぜる。
- ノリを6等分に切る。
- ノリに②を約40gをのせ綺麗に伸ばす。うなぎのかば焼きに見えるように包丁の背で軽く線をつける。
- 油を中火で熱し、きつね色に揚げる。
- 揚げた後、すぐタレを塗り半分に切ったら完成！

普茶料理は、肉・魚・卵を一切使用せず、野菜・季節の山菜・豆腐などで作る精進料理です。今回紹介するのは見た目も食感もうなぎそっくりのもどき料理です。



普茶料理おぎ春香会の皆さん



下処理

- ごぼうは、ボウルの中でおろし金でおろし、水にさらしてから固く搾り、ほぐしておく。
- しょうがは、おろし金でおろして固く搾り、汁と搾りかすを別々にし、搾りかすはほぐしておく。

タレの
作り方

Aを鍋に入れて熱したあと、しょうが汁を入れる。煮立ったら片栗粉を入れ、とろみをつける。

小城市広報「さくら」 次号の6月号は5月20日発行です。

■発行/小城市 編集/総務課

〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田 2312 番地 2

TEL 0952・37・6111 (代表) FAX 0952・37・6163

ホームページ www.city.ogi.lg.jp ✉ info@city.ogi.lg.jp

■住民基本台帳にもとづく人の動き

平成28年3月31日現在 (前月比)

人口/45,683人(-169) 世帯数/15,902世帯(+22)

人口の内訳 男性/21,573人(-92) 女性/24,110人(-77)



「小城市広報さくら」は大豆油インキと再生紙を使用しています。